

# IEEE1394 & USB 2.0 HARD DISK UNIT

LHD-TBFU2シリーズ

ディスク・リンキング HDユニット  
ユーザーズマニュアル

**Logitec**

---

# 目次

|   |           |
|---|-----------|
| 取扱い上のご注意 .....                          | 1         |
| 廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意 .....               | 4         |
| 付属品の確認 .....                            | 5         |
| ごあいさつ .....                             | 7         |
| ご注意 .....                               | 7         |
| <b>第1章 製品のご紹介 .....</b>                 | <b>8</b>  |
| 1.1 製品概要 .....                          | 8         |
| 1.2 使用環境について .....                      | 10        |
| 1.3 各部の名称と機能 .....                      | 13        |
| 1.4 接続の前に .....                         | 15        |
| <b>第2章 モードの切り替え方法について .....</b>         | <b>17</b> |
| <b>第3章 接続と取り外し方法 .....</b>              | <b>21</b> |
| 3.1 接続について .....                        | 21        |
| 3.1.1 IEEE1394 接続の場合 .....              | 21        |
| 3.1.2 USB 接続の場合 .....                   | 24        |
| 3.2 ドライバのインストール方法 .....                 | 27        |
| 3.3 本製品の取り外しについて .....                  | 29        |
| <b>第4章 ハードディスクのフォーマット .....</b>         | <b>31</b> |
| 4.1 Windows XP, 2000 でのフォーマット手順 .....   | 31        |
| 4.2 Windows Me, 98 でのフォーマット手順 .....     | 32        |
| 4.3 Mac OS X でのフォーマット手順 .....           | 33        |
| 4.4 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順 ..... | 35        |
| <b>第5章 トラブルシューティング .....</b>            | <b>40</b> |
| <b>修理依頼書 .....</b>                      | <b>44</b> |

## 取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



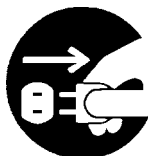
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かの注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

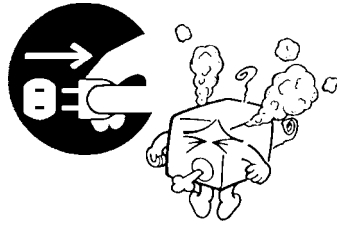


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークはACアダプタをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

# 警告

万一、異常が発生したとき。

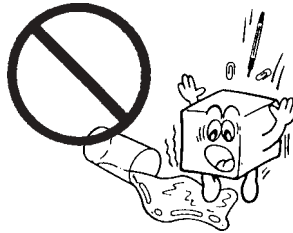
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源ケーブルをコンセントから抜いてお買い求めいただいた販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

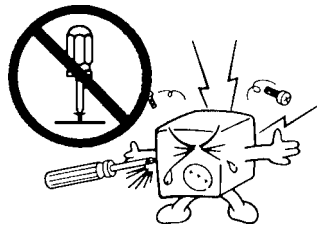
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合はお買い求めいただいた販売店にご相談ください。



正しい電源で

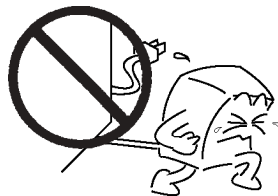
使用してください。

電源ケーブルは必ず、AC100Vのコンセントに接続してください。



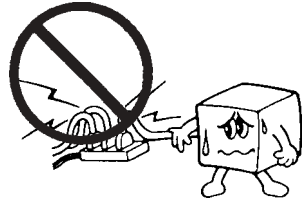
ケーブル類を大切に。

電源ケーブル、USBケーブル、IEEE1394ケーブルは破損しないように十分ご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、ケーブルの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



# ⚠ 注意

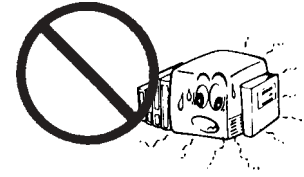
電源ケーブルは、なるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



ケーブル類は必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



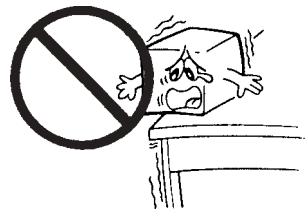
本体の周りを本などで覆わないで下さい。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



## 廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

## ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、弊社では、ハードディスク上のデータを電氣的に強磁気破壊方式( )により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などにご利用ください。

磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、ディスクを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ( <http://www.logitec.co.jp> )をご参照ください。また、お問合せは、下記窓口までお願い致します。

( 技術的なお問合せは弊社テクニカルサポートにお願いします。 )

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社      ロジテックサポートソリューション

データ消去サービス係    5番受入口

TEL : 0265-74-1423 / FAX : 0265-74-1403

## 参考

付属の「LogitecWare」CD-ROM内に収録されている、「ディスクデータイレサ」(Windows環境のみ)を使用することで、ハードディスク上のデータを全て消去する事ができます。消去後に再フォーマットすることにより再利用が可能です。消去されたデータは、パソコンでは読み取り不能となります。ただし、ソフトウェアによる消去の場合、専門機関等の特殊な環境でもデータが復元されないことを、保証するものではありません。

## 付属品の確認

|   |     |
|---|-----|
| HD ユニット .....                                       | 1 台 |
| USB ケーブル  |     |
| 「CB-USB2AMB-010」( USB 2.0 High-Speed 対応 : 1m )..... | 1 本 |
| IEEE1394 ケーブル                                       |     |
| 「CB-I64-011S」( 6 ピン -4 ピン ).....                    | 1 本 |
| 「LogitecWare」CD-ROM .....                           | 1 枚 |
| ロックキー .....   | 2 個 |
| ハードウェア仕様一覧表 .....                                   | 1 枚 |
| B's Crew FW ユーザー登録カード .....                         | 1 枚 |
| 保証書 .....   | 1 枚 |
| HD ユニット・ユーザーズマニュアル .....                            | 本書  |

本製品は電子精密機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

# *Memo*



# ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

## ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一項目に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

\* MS<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup> は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国での登録商標です。 Macintosh、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

# 第 1 章

# 製品のご紹介

## 1 . 1 製品概要

本製品は製品内に搭載された 2 台のハードディスクを 1 つのボリュームとして扱う「ディスク・リンキング機能」と片方のドライブだけを使用する「シングルディスクモード」が設定可能な外付け型ハードディスクユニットです。

### 本製品の特徴

製品内部に搭載されている 2 台のハードディスクを、「ディスク・リンキング機能」によりパソコン側から 1 ボリュームとして認識させ、大容量のハードディスクとして使用することができます。

また、通常は 1 台のハードディスクだけを使用し（シングルディスクモード）そのハードディスクの内容をもう 1 台のハードディスクにバックアップ（コピー機能）するといった使い方もできます。

使用しない時はフロントキーをロックしておけば、パソコンに接続しても認識されないの、不正アクセスを防止することができます。

高速での書き込みが可能な IEEE1394 と USB 2.0 の High-Speed に対応しているのでハードディスクの性能をフルに発揮することができます。また、従来の USB 1.1 ポートにも接続ができるので、非常に幅広いパソコンで使用が可能です。

IEEE1394、USB の両インターフェース共に接続が容易でホットプラグ（パソコンの電源が ON の状態での取り付け、取り外し）に対応しているので、必要になったときだけパソコンに接続し、バックアップや大容量データの交換などの用途に最適です。



### 重要なご注意

---

- ・本製品を IEEE1394 インターフェース、USB インターフェースの両方同時に接続することはできません。
  - ・本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず電源コードを AC100V のコンセントし接続して電源を供給してください。
  - ・スリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応しておりません。
- 



### 参考

---

- ・IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。
-

## 1.2 使用環境について

### 設置場所

本製品の設置条件は以下の通りです。

| 項目   | 動作時         | 非動作時        |
|------|-------------|-------------|
| 温度   | 5 ~ 35      | - 20 ~ 50   |
| 相対湿度 | 20 % ~ 80 % | 20 % ~ 80 % |
| 塵埃   | 一般事務室条件を許容  |             |

次のような場所には設置しないでください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温湿度変化の激しい場所
- ・電氣的ノイズを発生する機器の近く（モーターの近くなど）
- ・強磁界を発生する機器の近く（ラジオなど）
- ・ごみ、ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）や塩分を多量に含む空気が発生する場所
- ・周囲が密閉された棚や箱の中などの、通気が妨げられる場所
- ・不安定な場所
- ・船舶・航空機上など、本製品が想定している使用環境（一般事務室条件）と著しく異なる場所

## IEEE 1394 接続の際の使用条件

### 対応パソコン

本製品をIEEE1394インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてIEEE1394ポートを標準搭載している機種に限定されます。

|                                     |                      |                   |
|-------------------------------------|----------------------|-------------------|
| 各社                                  | DOS/V パソコン           |                   |
| 日本電気株式会社                            | PC98-NX シリーズ         |                   |
| アップルコンピュータ社                         |                      |                   |
| Mac mini                            | eMac                 | iMac (Flat Panel) |
| iMac (Early 2001)                   | iMac DV              |                   |
| Power Mac G5                        | Power Mac G4         | Power Mac G4 Cube |
| iBook (Late 2001)                   | iBook (Dual USB)     | iBook (FireWire)  |
| PowerBook G4                        | PowerBook (FireWire) |                   |
| Power Macintosh G3 (Blue and White) |                      |                   |

### 対応 OS

本製品を使用する場合には、以下のOSをご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

#### マイクロソフト株式会社

Windows XP HomeEdition/Professional  
 Windows Me  
 Windows 98 Second Edition (\*1)  
 Windows 2000 Professional

#### アップルコンピュータ社

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで (\*2)  
 Mac OS X 10.0.4 以降

\*1 IEEE1394 アップデータ 要導入 (「3.1.1 IEEE1394 接続の場合」参照)、Second Edition ではないWindows 98 では使用できません。

\*2 Mac OS 9 以降で FireWire 2.3.3 以上を導入した環境を推奨

## USB 接続の際の使用条件

### 対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべて USB ポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

|          |              |
|----------|--------------|
| 各社       | DOS/V パソコン   |
| 日本電気株式会社 | PC98-NX シリーズ |

#### アップルコンピュータ社

|                                     |                      |                   |
|-------------------------------------|----------------------|-------------------|
| eMac                                | iBook                | iMac              |
| PowerMac G5                         | Power Mac G4         | Power Mac G4 Cube |
| Power Macintosh G3 (Blue and White) |                      |                   |
| PowerBook G4                        | PowerBook (FireWire) |                   |
| PowerBook G3 ( BronzeKeyboard )     |                      |                   |

### 対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

#### マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional  
Windows Me  
Windows 98 (Second Edition 含む)  
Windows 2000 Professional

#### アップルコンピュータ社

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 まで ( )  
Mac OS X 10.0.4 以降

USB 接続では Mac OS 8.6 はご使用になれません。

### ご注意 ( 共通 )

当社 DOS/V 対応製品は、一般的な DOS/V パソコンで確認を行っております。ただし、発売されている全ての DOS/V パソコンで動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在致しますことをご承知おきください。また、自作パソコンやショップ製組み立てパソコンの場合、各種部品との相性などにより、本製品が正常に動作しない場合がございますことをご承知おきください。

## 1.3 各部の名称と機能

### 本背品前面

#### POWER ランプ (青)

本製品の電源が ON になると内部のランプ (青) が点灯します。

#### ACCESS ランプ (赤)

本製品に対してアクセスが行われると内部のランプ (赤) が点灯/点滅します。

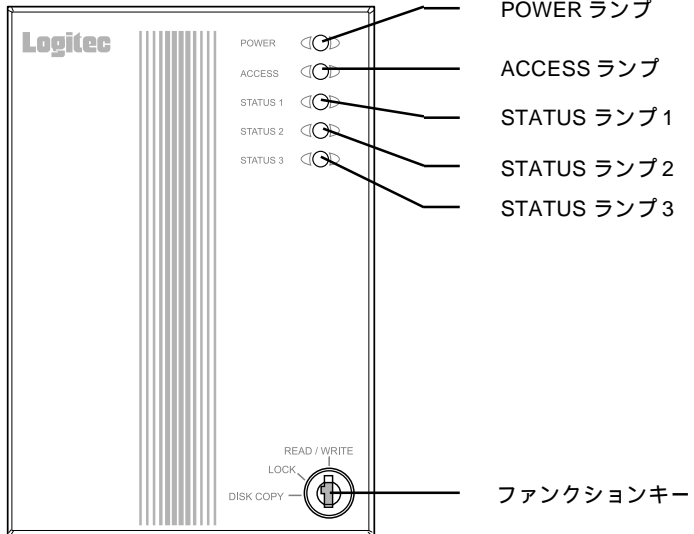
#### ~ STATUS ランプ 1 ~ 3 (オレンジ色)

ディスク・リンクモード時はSTATUSランプ1、STATUSランプ2が点灯します。シングルディスクモード時は内部の搭載されている2台のハードディスクのうち、HD1が有効の場合はSTATUSランプ1が点灯、HD2が有効の場合はSTATUSランプ2が点灯します。STATUSランプ3は内部ハードディスクに異常を検出した場合に点灯します。

また、コピーモード時には、コピー先のHD側のランプが点滅します。

#### ファンクションキー

付属のロックキーを使用して、本製品がパソコンから認識できないようにすることができます。また、シングルディスクモードに設定されているときには、本製品に内蔵されている片方のハードディスクからもう片方のハードディスクへデータをコピーする機能を実行することができます。詳しい操作方法は第2章をご参照ください。



本背品前面

電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。

盗難防止キー取付け穴 (ケンジントンセキュリティスロット準拠)

盗難防止のためにカギつきのワイヤを取り付けることができます。

アース端子

太い銅線などで、パソコン本体のフレームグランド端子と接続してください。

電源コード

AC100V のコンセントに接続します。

ディップスイッチ

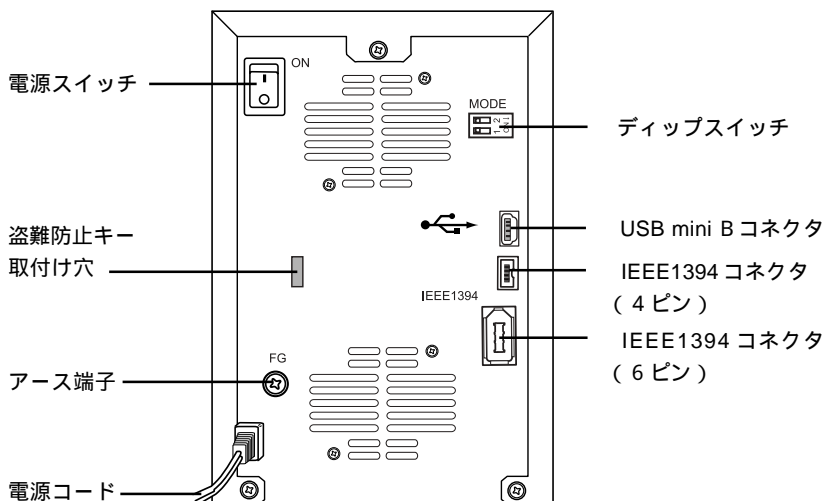
本製品の動作モードをディスク・リンキングか、単体(片方のハードディスクのみを使用)かを切り替える際に使用します。詳しくは「第2章 モードの切り替え方法について」をご参照ください。

USB mini B コネクタ

本製品を USB 接続する場合に、パソコン本体と接続します。

IEEE1394 コネクタ (4 ピン) IEEE1394 コネクタ (6 ピン)

どちらか片方を、付属の IEEE1394 ケーブルでパソコン本体の IEEE1394 ポートと接続します。パソコン本体との接続に使用しなかったコネクタは IEEE1394 機器を増設するときに使用します。





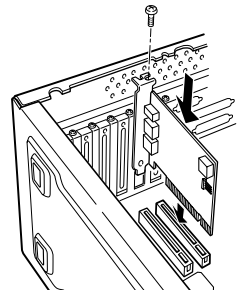
## 1.4 接続の前に

### インターフェイスボードの接続

パソコン本体にIEEE1394ポートまたはUSB 2.0ポートがない場合は、別売のインターフェイスボード（PCIバス用インターフェイスボード）もしくはCardBus対応インターフェースカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェイスボードのマニュアルにしたがって、接続やドライバのインストール等を行っておいてください。（本書の第2章以下はすべてこれらの作業が終了していることを前提としています。）

本製品をUSB 1.1ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度はFull-Speed( 12Mbps )までとなります。



IEEE1394 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものを推奨します。

#### PCIバス用IEEE1394 インターフェイスボード

| 型番          | バス  | 備考   |
|-------------|-----|--|
| LHA - 1394V | PCI | インターフェイスボード単体<br>Windows XP, Me, 98 SE, 2000対応 |
| LVC - MG 2L |     | ビデオ活用キット<br>Windows Me, 98 SE, 2000対応          |

USB 2.0インターフェースボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

### PCIバス用USB 2.0インターフェースボード

| 型番        | バス  | 備考  |
|-----------|-----|---|
| LHA-USB2V | PCI | インターフェースボード単体<br>Windows XP, Me, 98, 2000対応 |

### CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

| 型番           | バス      | 備考   |
|--------------|---------|--|
| LPM-CBUSB2HA | CardBus | インターフェースカード単体<br>Windows、Mac OS X 10.3以降対応 |

#### Point

#### ポイント

これらオプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

## 第2章

## モードの切り替え方法について

本製品は、背面のディップスイッチを使用して、以下の2つのモードを選択/設定することができます。

### 「ディスク・リンキングモード」（出荷時設定）

2台のハードディスクを1ボリュームとして扱うモード。このモードを選択した場合、使用可能容量は2台分の合計となります。

### 「シングルディスクモード」

2台のハードディスクの内、1台だけを使用するモード。このモードを選択した場合、ディップスイッチの操作によって、もう1台のハードディスクを別の用途に使用したり、片方のハードディスクのデータをもう片方のハードディスクにコピーすることができます。

また、前面のファンクションキーを操作することにより、1つのハードディスクからもう1つのハードディスクへデータをコピーする「**コピー機能**」（シングルディスクモード使用時のみ）や、不使用時にパソコンに接続しても認識されないようにして不正アクセスを防止する「**ロック機能**」を使用することができます。



### ご注意

- ・ ディップスイッチによるモードの変更は、パソコン側から認識されるボリュームの情報を変更するのみとなり、フォーマットは行われません。そのためディスク情報が正しくありませんので、モードの変更後は、ご使用のパソコン上から必ず再フォーマットを行ってください。フォーマットせずに使用し続けるとデータを破損することがあります。
- ・ シングルディスクモード - ディスク・リンキングモードの変更を行うと、変更前のモードで保存していたデータは全て消去されます。モードの変更を行う前に、ハードディスク内のデータを消去しても問題のないことをよくご確認ください。
- ・ コピーモードを使用してデータをバックアップしていた場合に、シングルディスクモードからディスク・リンキングモードへ変更するとバックアップデータごと消去されます。モードを変更する際は、本製品内のデータを全て消去してよいことを確認してください。

## ディスク・リンキングモード

### 設定方法

本製品の電源が入っていない状態で、背面のディップスイッチ 1、2 を共に OFF にして、本製品の電源を ON にします。



OFF に設定

STATUS ランプが以下のように点灯します。

|              |      |
|--------------|------|
| STATUS ランプ 1 | : 点灯 |
| STATUS ランプ 2 | : 点灯 |
| STATUS ランプ 3 | : 消灯 |

以上で設定は終了です。この後はパソコンに接続してハードディスクのフォーマットを行ってください。

## シングルディスクモード

### 設定方法

本製品の電源が入っていない状態で、背面のディップスイッチ 2 を ON にして、本製品の電源を ON にします。



ON に設定

内蔵のHD1を使用する場合はディップスイッチ1をOFFに、HD2を使用する場合はONに設定します。

STATUS ランプが以下のように点灯します。

|              |      |
|--------------|------|
| STATUS ランプ 1 | : 点灯 |
| STATUS ランプ 2 | : 消灯 |
| STATUS ランプ 3 | : 消灯 |

— HD1 が使用可能な状態  
(ディップスイッチ 1 が OFF)

|              |      |
|--------------|------|
| STATUS ランプ 1 | : 消灯 |
| STATUS ランプ 2 | : 点灯 |
| STATUS ランプ 3 | : 消灯 |

— HD2 が使用可能な状態(ディップ  
スイッチ 1 が ON)

以上で設定は終了です。この後はパソコンに接続してハードディスクのフォーマットを行ってください。

## コピー機能

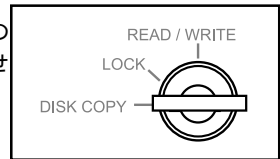
コピー機能は、本製品に内蔵されている2台のハードディスクを使用して片方のハードディスクから、もう片方のハードディスクへデータをコピーする機能です。この機能は本製品がシングルディスクモードに設定されている場合しか使用できません。

また、このモードはミラーリングとは異なり、コピー後にコピー元のデータが更新されても、コピー先のデータは更新されません。

### 設定方法

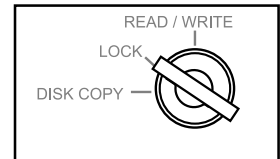
本製品の電源を OFF にしてください。

付属のロックキーをファンクションキーの鍵穴に差し込み、「DISK COPY」にあわせてください。



本製品の電源を ON にします。

キーの位置を「LOCK」に回します。



コピーが開始されコピー元のHDのSTATUSランプが点灯し、コピー先のHDのSTATUSランプが点滅します。(コピーには約130分かかります)

コピーが終了すると、コピー先のHDのSTATUSランプが消灯します。

### コピーに失敗した場合

コピーに失敗した場合は、STATUSランプ3が点灯し、内容に応じてSTATUSランプ1、2が以下のように点灯/点滅します。

#### コピーができない場合

コピー方向に関係なく問題があるHDのSTATUSランプが点滅します。正常なHDのSTATUSランプが消灯します。

#### コピー時に一部読み出しができなかった場合

この場合コピー元のSTATUSランプが点灯し、コピー先のSTATUSランプは消灯します。

## コピーしたデータを使用する方法

バックアップしたデータを使用したい場合、**背面のディップスイッチ1のON/OFFを切り替えてください**。本製品内部で、シングルディスクモード時にパソコン側から認識されるハードディスクが切り替わります。

また、コピー機能を使用してコピーした場合、フォーマット情報も同時にコピーされますので、フォーマットの必要はありません。切り替えた後にフォーマットは行わないでください。

## ロック機能について

ファンクションキーの位置を「LOCK」にあわせて、電源をOFFにしておくと次回電源投入時以降、ロックを解除しなければ、パソコンに接続しても本製品が認識されません。

ロック機能が有効になっているときに電源をONにすると、モードに関係なくSTATUSランプ1、2が消灯し、STATUSランプ3が点滅します。

ロック機能を解除する場合は、いったん本製品の電源をOFFにしてファンクションキーの位置を「READ/WRITE」の位置にあわせてから再度電源をONにしてください。



### 重要なご注意

本製品背面のディップスイッチ2は、シングルディスクモードをディスククリーニングモードの切り替えに使用します。この部分のON/OFFを切り替えると、ハードディスクに保存されていたデータは全て消去されてしまいます。この場合消去されたデータは元に戻せません。

# 第3章

# 接続と取り外し方法

本章では本製品の接続と取り外し方法についてご説明します。接続を行う前に、第2章を参照して、本製品をディスク・リンクモードで使用するか、単体モードで使用するかを確認しておいてください。

## 3.1 接続について

ここでは、IEEE1394 接続で使用する場合の手順と、USB 接続で使用する場合の手順を順番にご説明します。

### 3.1.1 IEEE1394 接続の場合

3

#### 確認事項

#### IEEE1394 ドライバのアップデート

(Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「LogitechWare」CD-ROM に収録されています。そのため、Windows 98 Second Edition で IEEE1394 接続にて本製品をご使用の場合、以降の作業を行う前に、CD-ROM の以下のフォルダに保存された説明ファイル「README.HTML」をご熟読の上、実行ファイル「242975JPN8.EXE」を実行してください。

保存フォルダ : ¥DRIVERS¥MICROSOFT¥1394

説明ファイル : README.HTML (README)

実行ファイル : 242975JPN8.EXE (242975JPN8)

## 接続の手順



### ご注意

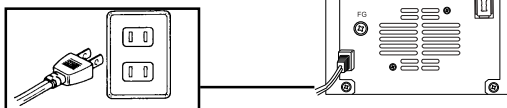
Mac OS 9.2.2 以前の環境でご使用の場合は、接続を行う前にフォーマットソフトウェアをインストールしなければなりません。「第4章 ハードディスクのフォーマット」の「4.4 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2でのフォーマット手順」のIEEE1394接続の箇所をご参照ください。インストールと接続の手順についてご説明しています。

パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動してください。

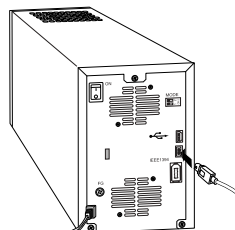
このとき Windows XP, 2000 をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等）としてログオンしてください。

本製品背面の電源コードを AC100V のコンセントと接続して、電源スイッチを ON にしてください。前面の POWER ランプが青色に点灯します。

AC100Vのコンセントへ



本製品に付属の IEEE1394 ケーブルを接続します。IEEE1394 コネクタには 4 ピンのもの（小さい方）と 6 ピンのもの（大きい方）がありますが、本製品には 6 ピン - 4 ピンのケーブルが付属しているのでどちらを使用しても構いません。



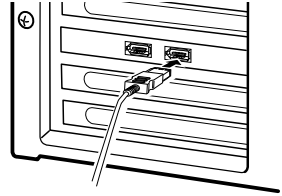
パソコン本体の IEEE1394 ポートが 6 ピンの場合      本製品側（4 ピン）の例  
・・・本製品には 4 ピンのコネクタを接続してください。

パソコン本体の IEEE1394 ポートが 4 ピンの場合  
・・・本製品には 6 ピンのコネクタを接続してください。

ここで使用しないコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行う時に使用しますが、今は開いたままでかまいません。



IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続します。



パソコン本体側（6ピン）の例

以上で接続は終了です。接続後、本製品が自動的に認識されます。次に、ハードディスクのフォーマットを行ないます。フォーマット方法は使用するOS毎に異なります。「第4章 ハードディスクのフォーマット」の該当する部分を参照して、本製品のフォーマットを行ってください。

また、本章「3.3 本製品の取り外しについて」では、本製品をパソコンから取り外す際の注意事項が書かれていますので、そちらもご参照ください。

上のパソコンの図はDOS/Vパソコンを元にしていますが、IEEE1394ポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンのIEEE1394ポートを確認して接続してください。

## 3 . 1 . 2 USB 接続の場合

### 確認事項

接続先のパソコンに USB 2.0 拡張ポートがある場合はそちらに接続してください。

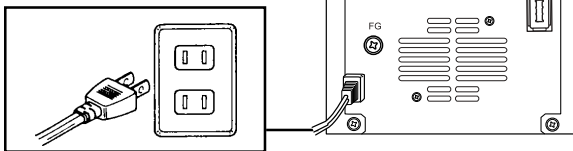
USB 2.0 拡張ポートがない場合、USB 1.1 ポートへ接続してください。その場合の転送速度は Full-Speed (12Mbps) までとなります。

### 接続の手順

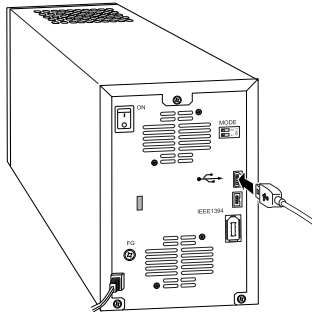
パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動してください。このとき Windows XP , 2000 をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等）としてログオンしてください。

本製品背面の電源コードを AC100V のコンセントと接続して、電源スイッチを ON にしてください。前面の POWER ランプが青色に点灯します。

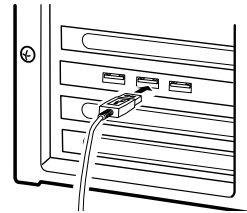
AC100V のコンセントへ



付属の USB ケーブルで本製品の USB mini- B コネクタと、パソコン側の USB ポートを接続してください。以上で接続は終了です。  
下のパソコンの図は DOS/V パソコンを元にしてありますが、USB ポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンの USB ポートを確認して接続してください。)



本製品側  
小さい方のコネクタ



パソコン本体側の例  
大きい方のコネクタ



#### 重要なご注意

- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく付属の USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。

以上で、接続は終了です。

## 接続後の作業

Windows 98 ( Second Edition 含む ) の場合は、本製品付属のドライバをインストールする必要があります。「3.2 ドライバのインストール方法」へお進みください。

それ以外のOSでは接続後、本製品が自動的に認識されます。次に、ハードディスクのフォーマットを行いません。フォーマット方法は使用するOS毎に異なります。「第4章 ハードディスクのフォーマット」の該当する部分を参照して、本製品のフォーマットを行ってください。

また、本章「3.3 本製品の取り外しについて」では、本製品をパソコンから取り外す際の注意事項が書かれていますので、そちらもご参照ください。

## 3.2 ドライバのインストール方法

Windows 98 (Second Edition 含む) のみ

接続が完了すると、本製品がプラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」  
が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブに本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM をセットし、「検索場所の指定」だけがセットされている状態で、下のテキストボックスに「D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98」と入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。(次ページのポイントもご参照ください)

1. 「検索場所の指定」だけがチェック  
された状態にして

2. ここに、半角英数字で以下のように  
入力して

D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98

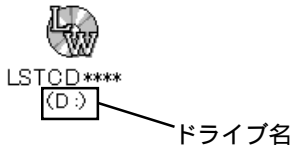
3. 「次へ」をクリック



**Point** ポイント

ここで「D:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「LogitecWare」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

以上でドライバのインストールは終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。次に、ハードディスクのフォーマットを行ないます。第4章の該当する部分を参照して、本製品のフォーマットを行ってください。

また、本章「3.3 本製品の取り外しについて」では、本製品をパソコンから取り外す際の注意事項が書かれていますので、そちらもご参照ください。

## 3.3 本製品の取り外しについて

本製品はホットプラグ(パソコンの電源がONの状態での取り付け、取り外し)が可能です。ただしこれはいつでも取り外してよいということではありません。以下の手順を参照に取り外し作業を行ってください。



### ご注意

取り外しの手順を守らないとデータが破損する場合がありますのでご注意ください。

### Windows 環境の場合

本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開いていないことを確認します。

タスクトレイ上の右のアイコンをクリックします。



表示されるメッセージをクリックします。このメッセージは、接続形態・使用 OS 毎に異なります。以下をご参照ください。

#### IEEE1394 接続の場合に表示されるメッセージ

Windows XP

- ・「LHD-TBFU2 IEEE 1394 SBP2 Device を安全に取り出します」

Windows Me

- ・「IEEE1394 ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 98

- ・「1394/USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 2000

- ・「LHD-TBFU2 IEEE 1394 SBP2 Device- ドライブ (D:) を停止します」

#### USB 接続の場合に表示されるメッセージ

Windows XP

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を安全に取り外します」

Windows Me の場合

- ・「USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 98 の場合

- ・「LHD-TBFU2 を止める : ドライブ (d:)」

Windows 2000 の場合

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を停止します」

**Point**

ポイント

---

ここで (d:) または (D:) は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。本製品が未フォーマットの場合はこのドライブ名が表示されません。

---

Windows XPでは本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されたら取り外しが可能となります。(このメッセージはしばらくすると自動的に消えますので特に操作する必要はありません。)

Windows Me, 98, 2000でも本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

本製品の電源をOFFにしてください。接続に使用しているケーブルを本製品とパソコンから取り外し、電源ケーブルを本製品から取り外してください。

以上で取り外し作業は終了です。

## Macintosh 環境の場合

本製品を取り外す前に必ずアンマウントという処理を行います。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・本製品のアイコンを1回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから「片付ける」を選択する。
- ・本製品のアイコンを1回クリックして選択状態にし、アップルキー + 「Y」キーを押す。

本製品に保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。



# 第 4 章

# ハードディスクの フォーマット

本章では、各 OS ごとにハードディスクのフォーマット手順をご説明いたします。フォーマットを行うと、ハードディスクの中のデータはすべて消去されます。重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

## 4 . 1 Windows XP , 2000 でのフォーマット手順

(IEEE1394、USB 共通)

Windows XP , 2000 では各 OS に標準のユーティリティ「ディスク管理」から行います。

ディスク管理を起動するには管理者権限をもつユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」としてログオンした後に、「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されるので、コンソールツリー上で「ディスクの管理」をクリックしてください。(ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

「ディスク管理」からのフォーマット方法については Windows のヘルプファイルをご参照ください。

### Point

#### ポイント

本製品付属の CD-ROM に保存された補足説明ファイルには、より詳細なフォーマット手順が記載されています。必要に応じてご参照ください。(下記のファイルをダブルクリックするとブラウザ上で内容を表示することができます。)

- ・ Windows XP [¥docs¥hdfmt¥xp¥index.htm](#)
- ・ Windows 2000 [¥docs¥hdfmt¥2k¥index.htm](#)

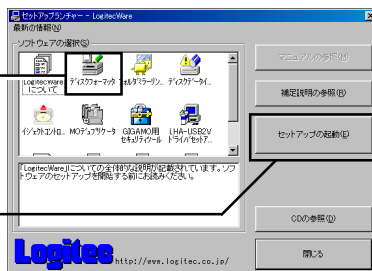
## 4 . 2 Windows Me , 98 でのフォーマット手順

(IEEE1394、USB 共通)

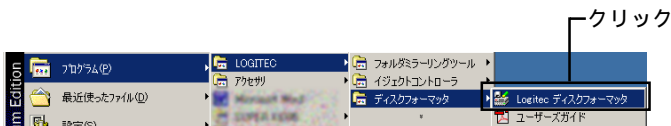
Windows Me、98 の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「Logitech ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」をインストールしてください。

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。
2. 「セットアップの起動」をクリックします。



インストールが終了したら、ディスクフォーマッタを起動します。タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」「Logitech」「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitech ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態インストールした場合)



ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



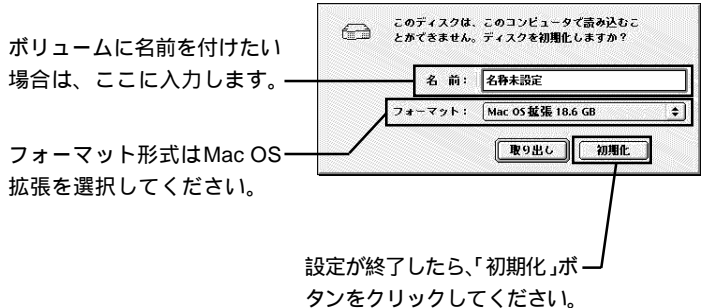
### ご注意

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマッタの物理フォーマットに関する機能は使用できません。

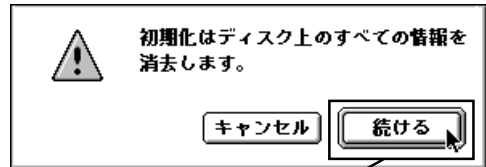
## 4.3 Mac OS Xでのフォーマット手順

(IEEE1394、USB 共通)

本製品を接続すると自動的に認識され、以下の「ディスクの初期化」ウィンドウが表示されます。必要に応じて設定を行い、初期化ボタンをクリックしてください。



以下の警告ダイアログが表示されます。



「続ける」をクリック

フォーマットが開始されます。終了すると新しいハードディスクがデスクトップ上にマウントされます。以上でドライバのインストールとハードディスクのフォーマットは終了です。次回からは、本製品を接続していただくだけで使用可能となります。

### Point

#### ポイント

Mac OS でフォーマット（初期化）する場合は必ず Mac OS 拡張を選択するようにしてください。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

### 本製品を再フォーマットする場合

本製品を再フォーマットする場合も「Disk Utility」を使用します。「Disk Utility」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「Application」「Utilities」「Disk Utility」を選択してください。この後はMac OS Xのヘルプを参照して初期化を行ってください。



#### ご注意

---

- ・Mac OS X 付属のディスクユーティリティの仕様上、NTFS形式でフォーマットされたドライブはフォーマットが正常に行えません。NTFS形式でフォーマットされているドライブを再フォーマットしてMac OS X上で使用する場合は、一度Windows 2000またはXP環境にてパーティション情報を削除してから、再度Mac OS X上でフォーマットしてください。
  - ・ディスク・リンキングモードから、シングルディスクモードに変更した場合、ディスクユーティリティ上で、装置が認識されません。Mac OS Xでディスク・リンキンモードからシングルディスクモードに変更する場合には、他の環境（Windows環境やMac OS 9環境）で、シングルモードの状態フォーマットを行ってから、再度Mac OS Xでフォーマットし直してください。
-

## 4 . 4 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順

ご使用の OS が Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 の場合は、接続するインターフェースにより、フォーマット方法が異なります。該当する部分をご参照ください。

### IEEE1394 接続の場合

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 で IEEE1394 接続時にフォーマットを行うためには、付属の CD-ROM よりフォーマッタソフトウェア「B'sCrew FW」をインストールします。

#### フォーマッタインストール手順

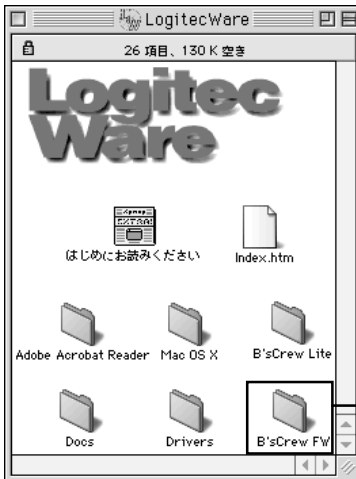
インストールの前に本製品を接続している場合はいったん取り外してください。

インストール後にコンピュータの再起動を行うので、起動しているアプリケーションを全て閉じておいてください、

Macintosh のシステムを起動してください。

本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

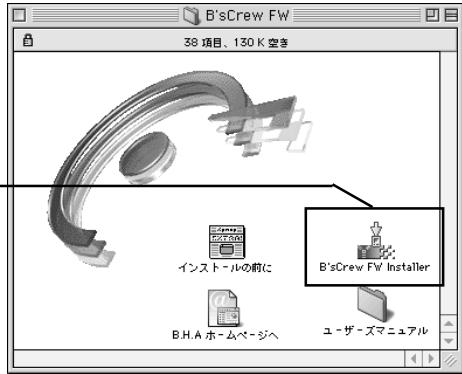
CD-ROM のウィンドウが開きますので、「B'sCrew FW」フォルダをダブルクリックして開いてください。



「B'sCrew FW」フォルダを  
ダブルクリック

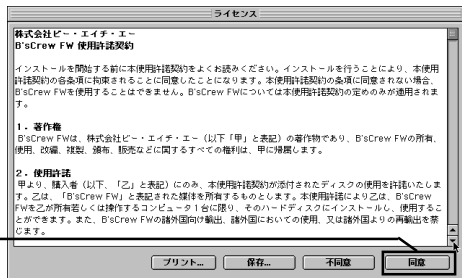
右の画面が表示されますので、「B'sCrew FW Installer」のアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブルクリック



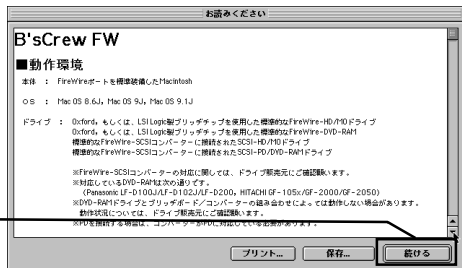
使用許諾等が表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「同意」をクリック



注意事項等が表示されます。

内容を確認して「続ける」をクリック



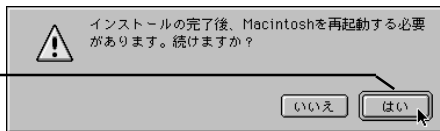
右のウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック

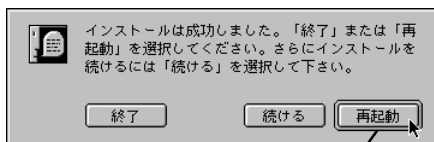


インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「はい」をクリック



必要なファイルが転送されます。終了すると下のウィンドウが表示されます。



「再起動」をクリック

コンピュータが再起動したらインストールは終了です。この後は「3.1.1 IEEE1394 接続の場合」を参照して本製品の接続を行い、ハードディスクのフォーマットを行ってください。

## フォーマット方法について

フォーマット方法については「B'sCrew FW」のユーザーズマニュアルをご参照ください。ユーザーズマニュアルを参照するには「B'sCrew FW」フォルダ内の「ユーザーズマニュアル」フォルダにある「B'sCrew FW Users Manual」(PDF形式)をダブルクリックして開いてください。



このアイコンをダブルクリックするとユーザーズマニュアルが表示されます。

フォーマットが終了すると、デスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。

## USB 接続の場合

USB接続で本製品のフォーマットを行う場合、は以下の手順をご参照ください。

### Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2でのフォーマット手順

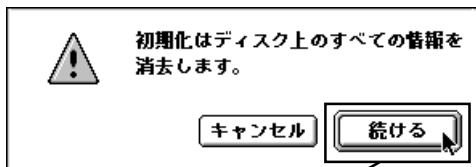
本製品を接続すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。(下図参照)

ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、初期化ボタンをクリックします。

1. 名前を入力
2. 「Mac OS 拡張」を選択
3. 初期化をクリック



以下の警告ダイアログが表示されます。



「続ける」をクリック

フォーマットが開始されます。終了すると新しいハードディスクがデスクトップ上にマウントされます。以上でドライバのインストールとハードディスクのフォーマットは終了です。次回からは、本製品を接続していただくだけで使用可能となります。



**Point****ポイント**

---

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を選択してください。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

---

**本製品を再フォーマットする場合**

本製品の再フォーマットはデスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」メニューから「ディスクの初期化」をクリックして表示される初期化のウィンドウから行ってください。

# 第5章

## トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

電源スイッチの状態、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。ドライバは正しい手順でインストールされていますか？

本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。

ご使用のOSによって使用（認識）できるファイルシステムとパーティションの容量に制限があります。以下の表で、接続先のパソコンに搭載されているOSが本製品のファイルシステムを使用可能かご確認ください。

| OS           | ファイルシステム |       |     |
|--------------|----------|-------|-----|
|              | NTFS     | FAT32 | HFS |
| Windows 98   | ×        |       | ×   |
| Windows Me   | ×        |       | ×   |
| Windows XP   |          | *1    | ×   |
| Windows 2000 |          | *1    | ×   |
| Mac OS *3    | ×        | *2    |     |

\*1Windows XP、2000上でフォーマットする場合、32GBまでしか確保できません。（Windows Me、98上でフォーマット済みのものはそのまま認識できます。）

\*2Mac OSの場合、120GBまでしか認識されません。

\*3Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5の場合、FAT32形式は認識されません。

ロック機能が有効になっていませんか？本製品はロックされているとパソコン上から認識されません。ロック機能が有効の場合はSTATUSランプ3が点滅し、その他のSTATUSランプが消灯したままとなっています。この場合はロックキーを使用してロックを解除してください。

Windows XP,2000で「ディスクの管理」が起動できない。  
「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」）としてログインしていなければなりません。

スリープ状態から復帰できない。

本製品はスリープなどの省電力機能は未サポートとなっております。これらの機能はOFFに設定してご使用ください。

本製品の物理フォーマットができない。

本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット（通常のフォーマット）のみでご使用ください。

USB接続時にデータの転送速度が遅い。

USB 2.0のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1のポートに接続されている場合、データの転送速度はFull-Speed(12Mbps)までとなります。High-Speed(480Mbps)でデータ転送を行うにはUSB 2.0ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りのUSB 2.0インターフェイスボード（PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応USB 2.0インターフェイスカード）を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で  
本製品を使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、USBのようなホットプラグ対応のインターフェースで接続したハードディスクを動作対象としていない場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアがUSB接続のハードディスクを動作対象としているかどうかを確認してください。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2の環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

（IEEE1394接続時のみ）

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

B'sCrew FW Driver

STATUS ランプ3 が点灯し、STATUS ランプ1 または2 が点滅し続ける。

該当のハードディスクにトラブルが発生しています。弊社まで修理をご依頼ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

## 本製品の Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 用 IEEE1394 ドライバに関するお問い合わせについて

本製品付属の Macintosh 用 IEEE1394 ドライバ「B'sCrew FW Driver」に関するお問い合わせは、開発元である株式会社ビー・エイチ・エーのオンラインサポートをご利用ください。

詳しくはビーエイチエー社のホームページをご参照ください。

<http://www.bha.co.jp/>

オンラインサポートをご利用になるためにはあらかじめビー・エイチ・エー社のホームページよりユーザー登録が必要になります。ユーザー登録の際には必ず B'sCrew FW Driver のシリアルナンバーをご用意ください。シリアルナンバーは付属の「B's Crew FW 用ユーザー登録カード」内に記載されています。

# *Memo*

